

選択教科学習指導案（国語科発展・深化コース）

日 時 平成18年10月30日（月）

生 徒 2年（6名）3年（6名）計12名

場 所 1年B組教室

指導者 佐々木 香奈子

1. 教材名

「話すこと・聞くこと」話し合って考えを深めよう ディベート

2. 教材について 「発展・深化型」

国語科の4領域の中で、「話すこと・聞くこと」を取りあげ、ディベートを主な学習内容として設定した。ディベートを通して、要点に着目して話したり聞き取ったりする力を養うことをねらいとしている。

「話すこと・聞くこと」は、昨年度のCRT検査の結果で落ち込みのみられる領域であった。また、普通の授業では「読むこと」や「書くこと」に多くの時間が割かれているという現状があった。このようなことから、選択国語科として「話すこと・聞くこと」の領域を取りあげ、コースを設定した。

国語科においては、習熟度の違いに対応するため「基礎・基本コース」と「発展・深化コース」を設けた。本コースは「基礎・基本コース」よりも、より高い目標をもって学習するため、ディベートという話し合いの形態を取り入れることとした。ディベートとは、1つのテーマについて「賛成」「反対」などの2つの立場から討論し合うものである。個人的な意見や感情とは無関係に、論理性によって聞き手をいかに納得させられるかが、勝負の分かれ目である。より説得力のある話し方が求められるのだ。よってディベートに必要な能力を簡単にまとめると「正確に聞き取る力」「論理的に考える力」「明快に伝える力」となる。普段の生活の中で、自分の考えを述べることはあっても、それについて真正面から反論を受けることはあまりない。ディベートという一種のゲームを通して、自分自身の話し方・聞き方について見直し、意見を戦わせることのおもしろさを味わわせたい。そして、さまざまな意見から自分の考えを深めさせたい。

3. 生徒について

授業に対して意欲的に取り組む生徒が多いものの、多くの人の前で自分の考えを述べることには抵抗感を抱いている生徒も少なくない。間違いを恐れがちのため、普通の授業では発言者が限られているといった現状である。日常生活においても、単語だけを並べて話そうとしたり、マニュアルがないと自信を持って話さなかったりといった様子が見られる。

ディベートは、どの生徒にとっても初体験となる。ディベートを行う上での役割を理解させ、それぞれの立場を尊重して話し合えるよう注意していきたい。2年生も3年生も積極的に話し合いに参加し、対等に発言できるように配慮したい。

4. 指導計画（7時間）

時	学 習 内 容	指 導 目 標	備 考
1	要点を正しく聞き取る	・ 目的や場面に応じて、必要な情報を正しく聞き取らせる	2年既習
2	ディベート1-1（準備）	・ 話題や目的に添って効果的に話し合いを展開し、自分の考えをまとめたり深めたりさせる	発 展 本 時
3	ディベート1-2（本番）		
4	ディベート2-1（準備）		
5	ディベート2-2（本番）		
6	敬語を正しく使って話す	・ 適切な語句の選択をさせる	3年既習
7	インタビュー	・ 話し手の意図を考えながら内容を的確に聞き取らせる	2年既習

5. 本時の指導

(1) 目標

進んで話し合いに参加しようとする。

目的や場面に応じて的確に話したり、論理の展開（主張とその根拠）に注意して聞いたりすることができる。

ディベートを通して自分の考えを深めることができる。

(2) 本時の展開 = 既習事項 = 発展的内容 = 補充的内容

段階	指導内容	生徒の活動	教師の支援	備考
導入 (5分)	1 前時までの確認	・ それぞれの立場で作成した発表原稿を確認する	・ 発表原稿が書かれてあるか確認する	
	2 本時の課題提示	・ 本時の課題を把握する		
展開 (40分)	ディベートを通して自分の考えを深めよう テーマ：行けるとしたら、過去と未来どちらがよいか			
	3 事前の確認	・ 話し方・聞き方のポイントを確認する ・ 進行上の留意点を確認する	・ 効果的な話し方・聞き方のポイントを確認させる ・ ディベート進行の流れを確認させる	
	4 ディベート	・ ディベートを行う	・ スムーズに進められるよう援助する	
	5 事後のふり返り	・ ディベートをふり返り、良かった点・改善点を挙げる ・ 全体で確認する	・ ワークシートに記入させる ・ 数名の生徒に発表させ、自分以外の役割についても考えさせる	
まとめ (5分)	6 まとめ	・ 自己評価をプリントに記入する		
	7 次時の予告	・ 次時の学習内容を知る	・ 次時の学習内容を予告する	

(3) 評価

進んで話し合いに参加しようとしていたか。

目的や場面に応じて的確に話したり、論理の展開に注意して聞いたりすることができたか。

ディベートを通して自分の考えを深めることができたか。